

西部センターだより 1号

H28.4.15

社会教育研修センターの機能



この2年間社会教育に関わらせていただいて、色々と感じることがありました。例えば、このセンターの役割やそれに関わる私たちの職務についてです。センター設立当時と比べて、その性格が大きく変わったと感じます。新年度を迎えるに当たり、今一度この施設が設置された経緯を振り返り、果たすべき役割と私たちの職務を再確認し新たなスタートを切りたいと思います。

平成2年に生涯学習振興法（正式名称は、「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」）が制定されました。この法律で規定された都道府県事業に関連したサービス提供を行うために、このセンターの前身となる生涯学習推進センター（平成7年に松江市東津田町、平成12年に浜田市野原町にそれぞれ完成）が設置されました。当時のこの施設が果たすべき役割は、「生涯学習」という言葉に端的に表れています。具体的には、県民への学習機会（主に講座）の提供や生涯学習指導者の養成、そして講座・イベントや指導者情報を発信する役割を担っていました。言い換えれば、ここは県民個人の学習ニーズを満たす生涯学習振興のための施設だったと言えます。

その後、生涯学習を取り巻く環境は大きく変わってきました。経済環境や財政状況の悪化によって、地方分権が進みました。公の施設へ指定管理者制度を導入できる地方自治法の改正や市町村合併を加速させる法律もできました。こうした流れの中で、社会教育の中核的存在である公民館は形や中身を徐々に変えていったことはご存じのとおりです。社会教育が学校支援に向かうための社会教育法の改正もありました。潤沢な予算で生涯学習を推進する時代は終焉を迎えたのです。

こうした流れの中、平成22年4月に施設の名称が社会教育研修センターとなりました。「社会教育」という言葉が表すように、『社会の要請』に重点を置く指導者養成機関に衣替えした年です。併せて、県の生涯学習課は社会教育課へ課名変更をしました。総花的な生涯学習事業と一線を画して、県は時代や社会に対応した社会教育事業へ軸足を転換しました。

17年間の歴史をごく簡単にまとめてみました。そして、今は少子高齢化、人口減少による多くの課題が各市町村で発生しています。そうした地域課題の解決や地域の活性化といった地域づくりに貢献する人材養成や研修を進めていくのが現在の私たちの使命だと言えます。この役目を担って生まれ変わった当センターは、この4月で7年目となります。改めて、市町村が必要とする（厳密には「社会が要請する」）社会教育の推進者に必要な資質能力は何かを問い直しながら、市町村が求める研修を充実させたいと思います。

そして、県が進める「地域力の醸成に資する人材」養成に努めたいと考えています。今年度、県社会教育課は新規事業も始めます。こうした県の社会教育施策を踏まえながら当センターの事業を実施しなければなりません。詳しい内容につきましては、当センターのホームページや市町村担当課からの案内文書などをご覧くださいと思います。市町村の皆様のお役に立つセンターであるために、調査研究や支援業務も引き続き行います。今年度もどうかよろしくお願いいたします。

最後に一句添えて今年度最初のご挨拶といたします。

「水ぬるみ めだかざわめく 鉢のなか」



所長 狩野 正夫

松原 聡

○センター職員としての目標…
 たくさんの出会いを求めます！
 ○父親としての目標…
 相手にしてくれている間は喜んで！！
 ○夫としての目標…
 妻の話を聴く・ホットするコーヒーを毎日提供



(我が家の様子)

スタッフ紹介



所長 狩野 正夫

「島根を愛し 世界を志す
 心豊かな人づくり」



社会教育の出発点
 狩野

よろしくお願いします！

花田 健司

4コマまんがをイメージして読んでみてください。

- ① いわみーるの3階が職場です
- ② パソコンばかり打っていると肩こるなー
- ③ トウルルルー！「誰からの電話だろう！」
- ④ 間違い電話でした(。_。)…シュン ☎

みなさんからの突然の電話・来所をお待ちしております

Welcome to our office

永井 宏子 ございま〜す♪

高台にあるセンターからは、窓の外に広がる花々と緑、そして青い空に映える浜田の海や島々、景色もバツグンです。

皆様、リフレッシュがてらお越しください。

ご案内します。



家田 ゆかり



これまでによい出会いを沢山いただきました。みなさんの表情が笑顔に変わる時が、何よりうれしい瞬間です。悩みの先には、喜びが…！みなさんの笑顔が増えますようお手伝いしたいと思います。

事業について

お知らせ

随時受付中！

○「親学プログラム」体験講座【新規】

「親学プログラム」を活用した研修・講座を企画する側の方を対象に、依頼に応じて、「親学プログラム」「親学プログラム2」の意義や良さを体感し、理解していただくための講座を実施します。お気軽にご相談ください。



○「親学プログラム2」対応 親学ファシリテーターブラッシュアップ研修【新規】 (7/26(火)開催:いわみーる)
 「親学プログラム2」対応親学ファシリテーター養成講座の修了生の方を対象に、実際にプログラムをファシリテートし、あわせて複数のプログラムを体験することで、その理解を深め、スキルアップにつなげていただくことを目的とした研修を実施します。また、ファシリテーター相互の交流を通し、つながりを深めていただくのも研修のねらいの一つとしています。

その他

○ホームページをご覧ください！(随時更新し、旬な情報をお伝えします)

研修の日程・申し込み等を掲載します。その他、「親学プログラム」に関すること、情報誌「しまねの社会教育だより」、研修の様子等を知ることができます。また、今年度から、これまでの「所長からのたより」を一新し、「**所長の私家版 社会教育講座**」をお送りします。お楽しみに！！

図書の出貸・閲覧について

* 約1,700冊の書籍等があります。ご活用ください。

市町村の社会教育指導者・担当者・公民館等関係者、学校、教育関係機関及び施設、団体、サークル等の方に、書籍等を貸し出ししています。また、センター内施設で閲覧することもできます。

利用について

- ・月曜日～金曜日
- AM9:00～PM5:00
- (祝日・年末年始を除く)
- ・貸出冊数…5冊まで
- ・貸出日数…15日以内

書籍のご紹介

東日本大震災と社会教育
 3.11後の世界にむきあう学習を拓く
 石井山 竜平(編著) 国土社

人がつながる居場所のつくり方
 日野社会教育センター(著)
 WAVE出版

ネットいじめ
 ウェブ社会と終わりなき「キャラ戦争」
 荻上 チキ(著) PHP出版

元気になる会議
 -ホワイトボードミーティングのすすめ方
 ちよん せいこ(著) 解放出版社

西部センターだより 2016/1号 発行/島根県立西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1(いわみーる3F)

TEL : (0855) 24-9344 FAX : (0855) 24-9345 Eメール : seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

http : //www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/